



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 26-11

6月号

発行 2024年6月18日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎 クラブ会長主題「温故知人」スローガン「明日に向かって新しい出会いを！」

副会長 松川 厚子 国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

会計 吉田 公代 主題“Let Your Light Shine“

書記 吉野 勝三郎 (輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(川越)

主題“Be the light for change”

(変革のために光となろう)

東日本区理事 山田 公平(宇都宮)

主題「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びを感じる機会を！」

関東東部部長 長尾 昌男(千葉ウエスト)

主題「YMCAとY's協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を！」

6月の聖句

主は私の羊飼いです。

私は乏しいことがない。

主は私を緑の野に伏させ

憩いの汀に伴われる。

主は私の魂を生き返らせ

御名にふさわしく、正しい道へと導かれる。

たとえ死の陰の谷を歩むとも

私は災いを恐れない。

あなたは私と共におられ

あなたの鞭と杖が私を慰める。

詩編 23 編 1~4節

Yahweh is my shepherd: I shall lack nothing.

He makes me lie down in green pastures. He leads me beside still waters.

He restores my soul. He guides me in the paths of righteousness for his name's sake.

Even though I walk through the valley of the shadow of death, I will fear no evil, for you are with me. Your rod and your staff, they comfort me.

Psalms 23:1-4

もし私が死んだ時には、葬式で讃美歌 354 番「牧主(かいぬし)わが主よ」を流してほしい。『聖歌』、『新聖歌』、『讃美歌』、『讃美歌 21』などいろいろと教会で歌われる讃美歌(言偏ごんべんがない)はあるが、基本的に『讃美歌』(1954 年版、日本基督教団讃美歌委員会)が馴染みもあり、情緒的で、単純で、一番好きである。その中でも一つ選ぶとしたら、やはりこの 354 番が好きなので、私自身の葬式ではぜひとも流してほしい曲である。その1節の歌詞は以下の通りだが、これは聖書の詩編 23 編をもとに作られた歌詞であることは言うまでもない。

牧主(かいぬし)わが主よ まようわれらを
若草の野辺に 導きたまえ
われらを守りて 養いたまえ
我らは主のもの 主に贖(あがな)わる

長い、難しい説教はいらないから、私の葬式ではこの讃美歌ともう2~3曲の讃美歌を流してくれればそれで良い。私自身長い説教、長い祈り、長い礼拝は嫌いなので、全体で 15 分くらいで終わりにしてくれれば良いと思う。まあ自分の葬式にあれこれ注文をつけることはできないけれども……。

5月例会報告

「不登校を考える」

日時:2024年5月25日(土)16:30~18:00

場所:川越市南公民館 講座室 2号

卓話:木本晃子氏(不登校の子を持つ保護者のかたり場「川越不登校親の会」、不登校をみんなでイロイロ考える会「るばと」主催)

参加者:(川越)河合今日子、利根川恵子、山崎純子、山

5 統計(3月23・31)

出席者 8名 出席率 80%

巻頭言

川越ワイズメンズクラブ会長 山本剛史郎

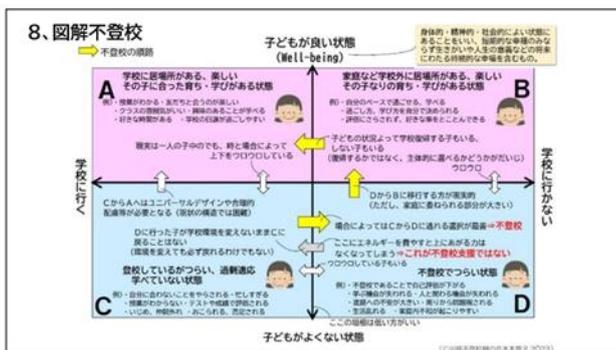
讃美歌 354 番「牧主(かいぬし)わが主よ」

本剛史郎、(埼玉)衣笠輝夫、小谷全人、(所沢)大澤和子、(YMCA)木下遥七、ゲスト1名

木本晃子さんを卓話者に迎え、「不登校を考える」というテーマで話をしてもらいました。木本さんは長男(現在 19 歳)が小学校 2 年生から学校に行けなくなり、そのことをきっかけにいろいろと不登校のことについて考え、試行錯誤をしながら、不登校の子を持つ保護者のかたり場「川越不登校親の会」、不登校をみんなでイロイロ考える会「るぼーと」などを立ち上げてきたことを語ってくれました。そして、不登校について自分なりにまとめてきたことを資料にまとめて、説明してくれました。もともと YMCA は青少年育成を目標として掲げる団体であり、川越クラブ、所沢クラブも元学校教員という人が多いクラブで、この問題には関心がありました。今回、木本さんのお話を聞いて、この子どもの不登校の状態、そして YMCA・ワイズメンズクラブがこの問題にどのように対処すべきなのかを考えるためのヒントをもらったような感じでした。

下図の図解不登校はそれをよく表していると思います。特に不登校問題では「学校に行くか・行かないか」ではなく、「子どもが良い状態か・良くない状態か」が本当に重要なのだということを感じさせられました。だからこそ、図解不登校においては学校に行っているが良くない状態にいる、つまりCの場にいる子どもは無理やり学校に行かせ続けるのではなく、学校に行かないという D への避難、そこから学校には行っていないが良い状態という B への移行を目指すというも領けました。

ともかく、不登校というのは何が原因でというのは分からないし、誰にでも起こりうることです。また、大きな社会的損失だけでなく、その子ども一人一人が良い状態、自分の居場所を持つことができることが重要だと感じました。今後も続けて話を聞きたいと思ひますし、他のワイズメンズクラブでも話をしてもらいたく思ひました。



今後の予定

6月例会

テーマ: 木村利人氏講演会「幸せなら手をたたこう」誕生物語

～ダグパン YMCA ワークキャンプ(1959年)に参加して～

日時: 2024 年 6 月 22 日(土)14:00~16:00

場所: 埼玉 YMCA 子育て子育てセンター

所沢市小手指町 1-39-11

(西武池袋線「小手指駅」北口から徒歩 7 分)

主催: 川越ワイズメンズクラブ、

共催: 公益財団法人 埼玉 YMCA、

埼玉ワイズメンズクラブ、所沢ワイズメンズクラブ

YMCA YMCA・ワイズメンズクラブ公開講演会

「幸せなら手をたたこう」誕生物語

参加無料

～ダグパンYMCA ワークキャンプ(1959年)に参加して～

講演者: 木村 利人(きむら りひと)氏

国際的なバイオエシックス(生命倫理学)研究者。早稲田大学名誉教授で、恵泉女学園大学元学長。博士(人間科学)。

1959年、農村復興のボランティア・ワークで初めてフィリピンに行きました。太平洋戦争中に日本がフィリピンに軍事進攻し、約百万人の命を奪ったという悲惨な状況について何も知らなかった僕は、現地で初めてその事実を知り、言葉が失いました。ボランティア仲間の中には戦争で家族を失い、日本への憎悪の只中であつた人もいたのです。ところが労働奉仕などを通して親しくなつたラルフ君が、ある日「リヒト! お互いにこれから、絶対に武器を取って戦わないことを誓おう。平和な未来を作り出そう。ボクたちはトモダチなんだ!」と語りかけてくれたのです。

【漫画 幸せなら手をたたこう誕生物語】(いのちのことば社)より

日時: 2024年6月22日(土) 14:00~16:00

場所: 公益財団法人 埼玉 YMCA 子育て子育てセンター
所沢市小手指町 1-39-11
(西武池袋線「小手指駅」北口から徒歩7分)

★会場都合により、ご参加の方は調整さん(右QRコード)、またはFacebook「川越ワイズメンズクラブ」のイベント! から参加の申し込みをお願いします。(申し込みがなくても参加できます。)

1959年、フィリピン・パンガシアン州ダグパン市のYMCAワークキャンプ(後列左端が木村利人氏)

2024年1月20日、いのちのことば社より出版

主催: 川越ワイズメンズクラブ
共催: 公益財団法人 埼玉 YMCA、埼玉ワイズメンズクラブ、所沢ワイズメンズクラブ

2023-24 東日本区 第27回東日本区大会に参加して 利根川太郎・恵子

北海道帯広市「とがちプラザ」及び「ホテル日航ノースランド帯広」において、6月1日に開催されました、第27回東日本区大会に参加して参りました。

北海道の雄大な自然の中、日本の食糧供給基地とも称される広大な十勝平野での大会とあって、とても楽しみにしていた大会です。全国から 320 名を超えるワイズメンが集まり旧知を暖め歓談の時を持ち、期待を遙かに超えて楽しくおいしい大会となりました。

川越クラブからは、利根川恵子と太郎の 2 名の参加でした。西日本区からも 64 名の参加があり、たいへん賑やかな大会となりました。

前夜祭から参加いたしました、かなり広いメキシコ料理のお店が貸し切りでも満杯になるほどで、本番を前に多くの皆さんにお目にかかれてご挨拶できました。

川越クラブブース販売のいも菓子は皆さんに好評で、開会前に売り切れてしまいました。大会は、十勝プラザを会場に帯広大谷高校のマーチングバンド、とがち帯広

YMCA の幼保園園児によるリミックダンスで幕を開け、バナーセレモニーに続いて開会式が行われました。東日本区アワー I では、理事報告、YMCA 報告がありました。YMCA 報告では、能登半島地震における YMCA の活動が報告され、行政の依頼を受けて大きな役割を果たした様子とワイズメンズクラブの大きなサポートが報告されました。

記念講演会は、南極料理人・作家・オーロラキッチン主宰の西村敦さんでした。1989 年(30 次隊)と 1997 年(38 次隊)に、南極観測隊員の食事担当として参加された経験をもとに、過酷な体験下での食にまつわるお話や、食を通しての様々なコミュニケーションをお話いただき、あっという間の 1 時間半でした。

東日本区アワー II では、事業主任報告に続き表彰がありました。川越クラブは 2 つ受賞が有ると言うことで、1 つめの IBC 賞受賞後に舞台上に残れということで、他クラブが賞状受領後次々と舞台を降りる中、何の賞だろうとドキドキして待ちました。そして最後の「最優秀クラブ賞」に川越クラブが呼名されました。受賞理由は「例会に多様な方をお呼びし、他のクラブにも公開して参加を呼びかけ活発であったこと、Facebook に告知や様子を頻繁に公開してクラブ活動の広報に積極的であったこと」でした。会長の山本さんのお働きが大きかったと思いますので、会長が受け取れなかったのは残念ですが、代わりに受賞して参りました。その後、理事就任式が利根川恵子アジア太平洋地域会長の司式により執り行われ、役員が紹介されて大会のメインプログラムを終了しました。

会場を「ホテル日航ノースランド帯広」に移して、大晩餐会パーティーが開催されました。西日本区からも多くの皆様に参加されましたので、あちらこちらで旧交を温める話の輪ができていて盛会でした。料理は海の幸、山の幸とともに豪華で、中でもアスパラの食べ放題は長蛇の列ができて人気でした。北海道の食を満喫いたしました。そして、次週の西日本区大会での再会を約して、皆さんとお別れして参りました。



2023-24 西日本区 第 27 回西日本区大会に参加して

利根川太郎・恵子

東日本区大会に続いて、6月8日に開催されました第27回西日本区大会に参加して参りました。会場は「名古屋市公会堂ホール」及び「ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋」です。名古屋は今、NHK の朝ドラ「虎に翼」のロケ地としてとても脚光を浴びています。そのロケ地の一つである「鶴舞公園」にある名古屋市公会堂ホールも歴史ある建造物で、重厚な作りの会場でした。

西日本区大会は、日本各地から 570 名を超える皆さんの参加があり、たいへん盛況でした。川越クラブからは、利根川恵子と太郎が出席いたしました。

大会はバナーセレモニーに引き続いて、深谷聡西日本区理事の開会宣言で幕を開け、年次報告、部長報告、事業主任報告と続いて、表彰が行われました。その後理事、役員引継ぎ式があつて大会を終了しました。

懇親会は、会場を移して ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋で盛大に行われました。カントリーウエスタンバンドのノリの良い演奏や大勢の皆様との歓談で楽しく過ごしました。先週に引き続いての豪華な晩餐で、体重が少し気になるところです。

東日本区大会、西日本区大会の両方に参加してみて、それぞれ特徴のある運営が為されていると感じました。両方に共通しているのは、参加していただいた皆さんに楽しく有意義な時間を過ごしてもらいたいという主催者の思いです。挨拶やセレモニーは簡潔かつスマートに盛り上げていて、時間がたつのが早く感じられました。





業は、ネパールの女性の教育・職業訓練事業です。

さて、話は変わって、去る5月17日(土)に、フィリピン・マニラダウンタウン・ワイズメネットクラブが、設立50周年記念祝会を開催し、アジア太平洋地域会長の私は来賓として招かれ、参加してきました。現在は38名の会員数を誇り、チャーターメンバーも何人かいて、初代の会長から10数名の会長経験者が勢揃いするという盛会でした。

記念祝会もさることながら、このワイズメネットクラブは、独自の奉仕活動を長年継続して行っており、特に毎年、高校生20名に奨学金を提供しているという話を聞いて感銘を受けました。事業で成功しているメンバーも多いため、このような多額の資金を必要とする事業も継続して実施できるようです。さらに奨学金を支給するにあたっては、学校に生徒の選考を任せるのではなく、クラブのメンバーが生徒と保護者と面接をし、決定しているそうです。

ワイズメンズクラブでもワイズメネットクラブでもどちらの組織にしても、地域に奉仕したいと願う人の集まりで、自分に合う組織を選ぶ選択肢の一つとして、ワイズメネットクラブがあります。マニラダウンタウンのみならず、50周年の時を超えて、地域のため、社会のためにご奉仕くださったことに感謝いたします。今後もお元気で活躍ください。



国際の舞台から

“Keiko’s Monthly Briefing of YMI/ASP”

フィリピン・マニラダウンタウン・ワイズメネットクラブ設立50周年記念祝会に参加して

アジア太平洋地域会長 利根川恵子

ワイズメンズクラブ国際協会の組織の一つにワイズメネットクラブがあります。ワイズメンズクラブ国際憲法の第3条第3項に「ワイズメンズクラブ、YMCA および地域社会を支援するために、独自の活動や事業を計画、実行する、女性のためのワイズメネットクラブを各クラブ、部、区、地域および国際レベルにおいて設けることができる。」と規定されています。ワイズメンズクラブの下部組織あるいは附随する組織と思われがちですが、ワイズメネットクラブは、ワイズメンズクラブと同じ目的を持った、女性の独立した組織で、ワイズメンズクラブのパートナーです。国際本部にワイズメンズクラブ同様、登録し、一人3スイスフランの登録費を払うことになっています。

アジア太平洋地域では、オーストラリア、台湾、フィリピンにありますが、東西日本区には国際本部にワイズメネットクラブとして登録しているクラブはありません。しかし、ワイズメネット献金として毎年寄付をしています。その寄付は、世界のワイズメネットクラブの投票で選ばれたTOF事業の支援に用いられています。2022-2024年度のサポート事

代々の会長さんです。真ん中(右から7番目)の方がチャータープレジデントで、お元気にご参加でした。

YMCA 報告

＜親子で楽しくおやこの会＞

昨年4月、「子どもが楽しく遊んでいる間、親は子育ての悩みが気軽に相談できる」

そのような“つながり”の場を目指し、「おやこの会」ができました。

この会は、親子で参加するけれど、一緒にはすぎさない。帰る時には、「楽しかったよ」と親も子ども笑顔で話せる会で、「こどもの会」は、小学生以上高校生以下であればどなたでもご参加いただくことが可能です。

現在、「こどもの会」ではボランティアの方々にも協力をお願いし、ボランティアの交通費として川越ワイズ特別支援教育支援金よりサポートいただいております。次回は、7月7日(日)(おやこの会:子育て相談会/こどもの会:水あそび)を行います。お知り合いの方で興味がある方がいらっしゃいましたらご案内ください。



<小関京子先生(ぶリーダー)をしのぶ会>

去る6月9日(日)、子育て子育てセンターにて『小関京子先生(ぶリーダー)をしのぶ会』を行い、オンラインを含め84名の参加者が集まりました。これまで小関先生は、理事として、教育アドバイザーとして、ワイズとして、様々な場面で埼玉YMCAを支え続けてくださいました。小関先生が亡くなられて2ヶ月が経ちましたが、私たちは今でも「ど〜も〜、おせきで〜す！！」と言って笑顔いっぱいの小関先生が川越センターに来てくれるような気がしています。しのぶ会では、小関先生と関わった方々がそれぞれ思い出を語り合い、思い出話が止まらない、笑顔溢れる時間となりました。(河合)

<小関京子さんを偲ぶ会に参加して>

6月9日14:00 会場に入ると小さな子供からシニアの方々がいっぱいでした。幅広い世代の方々と活動が思い出され小関さんの人柄が偲ばれます。

会の進行は小関さんの経歴、数々のメッセージ、思い出話と進みました、私が驚いたのは小関さんは最初は養護教諭としてお仕事され、その後学級担任になられたことでした。一人一人のこどもに寄り添い人に対しても寄り添ってくださる姿に心温まる思いがいつもありました。

いよいよワイズメンズクラブの方々の思い出話になりました。参加グループの中で一段と年齢が上がり若者や子どものフレッシュさに比べ人生の厚さを感じさせる面々です。浦和から浅羽さん、上松さん、所沢から渋谷夫妻、川越から山崎のスピーチです。

小関さんは私にとってお姉様的存在、2歳ほど年上の彼女は私が安心できる方。数々の会合にお顔が見えると嬉しく思ったものです。

川越の芋ファンドの活動ではいつも沢山買ってください、私が「そんなに沢山、大丈夫？」と聞くと「大丈夫、大丈夫」と答え、どうやら2kgか3kgの小袋に分けお知り合いに販売して下さったようです。その温かい気遣いに本当に感謝です。

また、小関さんの弟さん、千葉さんは楽器店経営、そしてピアノの調律士です。我が家のピアノは弟さんの千葉氏にいつもしてもらっています。

彼の話では小関さんは兄弟の上から2番目のしっかり者の姉さんです。そして彼らの叔母さんはピアニストで兄弟は皆ピアノを習ったそうです。お正月は毎年兄弟全員のピアノお披露目会。そんな少女時代を過ごしたようです。思い出話の中で子どもたちがみんなピアノをしっかりと教えてもらった話があり会場全体に「あーそうか！」という声があがりました。

お姿は見えなくてもみんなの心の中にしっかりと小関さ

んはいます。私も同様きっと会合で小関さんの姿を見つけそうです。

私にとってワイズメンズクラブのお姉様として折りにふれ思いたし、これからも活動していきたいと思います。

山崎純子
川越ワイズメンズクラブ



(編集後記)

No.26-12号の「希望の鐘」を皆さんの協力で発行できることを大変うれしく思います。今期、山本剛史郎会長最後のブリテンとなりました。山本会長は、7月1日から東日本区関東東部部長の要職を務められます。勤務先のキングスガーデンでのお仕事もますます重責を担われることと思います。埼玉YMCAでは新しく監事を務められます。どうぞ、健康に留意されて、YMCA・ワイズのためにご尽力下さい。

新年度は利根川太郎会長となりますので、どんな新風が吹き込まれてくるか大いに楽しみです。

先日の十勝での東日本区大会で、最優秀クラブ賞をいただくことができたのも、皆さんの積極的な寄稿によるところが大きいと思います。更に、英語版まで出しているのは川越クラブだけではないでしょうか。

私は、次年度も引き続き書記役を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。(KY)